

# 〈総合的な学習の時間〉 戦争について

～戦争をしたことでどんな被害があったのかを調べよう～

## みなべ町立 南部小学校 第6学年

### 1 指導計画

- 第1次 戦争について知る。
- 第2次 平和についての課題を設定し、追求する。
- 第3次 調べたことをもとに、自分の平和に対する考えを、パソコンを使ってまとめる。
- 第4次 平和についての自分の考えを発表し、友だちと意見を交流する。

### 2 活用した本のリスト

「字のないはがき」 向田邦子 「ネルソンさんあなたは人を殺しましたか？」 アレン・ネルソン  
「シリーズ さがしています」 アーサー・ピナード 「被爆者-70年目の出会い-」 会田法行  
他40冊

### 3 児童生徒の実態

本学級の児童に戦争についてのアンケートを実施した。その結果、戦争について「興味をもてそうですか。」の質問に対し82%の児童が前向きな回答を示した。一方、同アンケートにおいて、「教科書以外で戦争に関連した本を読んだことがありますか。」という質問では、77%の児童が「いいえ」と回答した。また、「いいえ」と回答した児童の中には、「曾祖父が戦争の体験者であり話しながらなかったという家族の話から、戦争について知ってはいけないイメージがある。」という回答もあった。

このアンケート結果から、多くの児童が戦争に関心をもっているが、日本は戦争の被害者でもあり加害者でもあるため、自ら進んで知ろうとはしない児童が多いことも分かった。

そこで、パソコンを使った調べ学習だけでなく、学校司書と連携し戦争に関する本の並行読書を通して、平和に対する自分の考えを深められるような課題を設定した。

### 4 第1次・第2次の学習を通して

第1次では、平和学習への見通しをもたせるために大まかな学習の流れをつかみ、平和に関する図書の紹介（ブックトーク）を行った。また、戦争についての知識を増やすために、それぞれが興味をもった平和に関する本の並行読書に取り組み、第4次でグループごとにブックトークを行うことを予告した。

子供たちは、学校司書による戦争に関連した図書の読み聞かせやブックトークを通して、戦争がもたらす悲惨さを知ることができた。また、事前に用意した40種類以上の図書の中から、一人一人じっくりとページをめくって本を選ぶ姿も見られた。



読み聞かせの様子



ブックトークをする本を選ぶ様子

大テーマ「戦争について」  
～戦争についての調べ学習が成果をだし、感想を発表しよう。～

学習すること:  
「読み聞かせを聞いて、戦争についての感想を書こう。」  
自分がブックトークする本のタイトルを調べる。(題名・作者)

10万人が殺された日

○読み聞かせを聞いた感想

読み聞かせを聞いて、たくさんの方が殺された日  
からしんでいた火気がおそろしく、  
戦争はいけないことだと思った。そして戦争  
のことを知れて、よかったと思いました。心に  
残ったのは、子どもからおじいさんのまでが  
戦争でくつろくを犠牲にして死んでしまっ  
たことだと思います。おじいさんがおどされた  
ことだけで、たくさんの方がなくなり、その日  
のうちに、もっとたくさんの方がなくなっ  
ていくことを知って、戦争はいけないと思っ  
たのかもしれないと思います。家族  
をなくした人たちは、とてもかたがたしんで  
いたと思います。本を読んで、もっと戦争の  
ことを知って、こんなことになった原因を  
知りたいと思いました。

学習で活用した振り返りワークシート

第2次では、平和について、詳しく調べていく課題を考え調べ学習を行っている。今後の学習の流れとして、以下の学習内容を計画している。

- ① 課題をもち並行読書を行っていく。
  - ・戦争中の人々の生活の様子について。
  - ・広島・長崎への原子爆弾投下について。
  - ・沖縄戦について。
- ② 課題について調べ学習をする。(本・インターネット)
- ③ 校外学習で見学をする。(南部小学校区にあるお寺を訪ね、戦没者のお墓の数や住職からお話を聞く。)
- ④ これからの平和について考える。

①「課題をもち並行読書を行っていく。」では、第1次で選んだ図書だけでなく、教室前のワークスペースにも平和に関する図書を配架し、子供たちが多くの本に触れる機会を設けた。図書コーナーを設置したことにより、授業中だけでなく休み時間にも本を手に取り、自分の課題に合う本を選ぼうとする姿が見られた。また、本校では1限目の開始前に読書をする時間が設けられており、その時間も活用しながら平和に関する図書の並行読書を行った。

次に、「②課題についての調べ学習をする。」に取り組んだ。選んだ本から得た知識や情報をワークシートにまとめることができた。パソコンを使った調べ学習では、インターネットを用いてそれぞれの課題について調べることができている。また、調べる前には著作権についても学習し、必ず出典を記載するように指導を行った。

今後の学習では、戦没者のお墓調べや平和を守っていくために、自分たちができることについて考えていく。その後、図書やパソコンを使って調べたことをプレゼンテーションソフトを用いて、まとめる活動を行う。また、まとめたものを全体の前で発表し、平和に関する知識を一層深められるようにしていきたいと考えている。



並行読書の様子



教室前にある平和コーナー



図書やパソコンを使った調べ学習の様子



## 5 成果と課題

- 学校司書による読み聞かせ、ブックトークを通して戦争がもつ悲惨さを知ることができた。また、「なぜ戦争が起きたのか。」「他にどんな悲劇があったのか。」など、戦争についての興味関心をもたせることができた。
- 学級文庫や教室前のワークスペースに平和に関する図書を配置したことによって、平和に関する図書に触れる機会を増やすことができた。
- △ インターネットを活用するとき、必要な情報を精選することが難しい。
- △ 調べ学習を行うにあたって、出典の記載など著作権に対する指導の定着が不十分であった。